

【記者からの質問】

NHK／県職員の飲酒での不祥事が相次いだ。受け止めと、再発防止策を。

知事／飲酒運転の件は、弁解の余地がなくお詫び申し上げます。大切な県民の命を奪う可能性があることについては、徹底的にやるべきと考え懲戒免職処分にした。

お酒を飲むと自我を失うこともある。そうなった場合を想定し、飲み会の予定があれば、通勤に車を使わない防御策を講じること。

また、酔って車をける行為があった。お酒を飲んでも自分を律することができるよう、普段から考えてほしい。職員は、支え愛キャンペーンのミッションを間違えないように。反省し、体制を整えていく。

NHK／再発防止策は？

知事／総務が考えること。今までは通知文を出して終わっていた。一人ひとりが本気で考えないといけない。各部署が話し合い、対応すると信じている。

NHK／玄海原子力発電所で小さなトラブルが頻発している。どう認識し、九州電力に求める対応は？

知事／小さな事故が続いていたので気になっていた。今回は仮設ケーブル火災で、あってはならないこと。原因は、作業員間の連携不足で容量がオーバーしたそう。総点検を申し入れ、2か月後に報告を受ける予定。

再度、小林副知事が現場を見に行き、2か月後報告を受ける。

時事通信／九州新幹線西九州ルートについて、長崎から面会の連絡はあったか。

知事／申し入れは2回ほどあったが、新しい提案はないようなので実現していない。九州知事会でも会う。そのような機会に、建設的な話があれば聞く。その姿勢に変わりはない。

時事通信／長崎でIRが議題に上がっている。そのような話でも受けるのか。

知事／知事会の場合だから話は聞く。私も長崎県知事に会うたびに、諫早の開門考えてと伝えて
いる。そのような話し合いは自然なこと。

時事通信／オスプレイの配備計画について、防衛省は地権者への説明会を早期に開催したい
ようだ。県から漁協に働きかけるのか。また、防衛省や漁協と協議するのか。

知事／26日に防衛省が関係支所に地権者説明の時期や方法を提案する予定だと聞いた。そ
こで、これからの流れを話し合うことになるだろう。

時事通信／県が間に入る予定は？

知事／今は、漁協が地権者の意向を地権者説明会で聞けばいいと言っている段階。そこで、防
衛省がそのやり方を直接聞こうとしている。県はそれを見守る形。その場にも立ち会う。

佐賀新聞／青森県日本原燃への視察の目的と所感を。

知事／六ヶ所村に行ったことがなく、直接話を聞きたいと思っていた。再処理工場とMOX燃料
工場について、規制委員会の動きがあった。また、北海道の最終処分地誘致の動きもあったの
で訪問した。具体的なイメージがつかめた。

六ヶ所村は、広大なエリアで放射性関係のものを扱っている。全体としての危機管理が必要だ
と感じた。私からは、事故が起こるのはヒューマンエラーだと説明した。

使用済みの燃料の処理方法が実感できた意義のある視察だった。

西日本新聞／北海道の文献調査の受け止めと、県内での可能性を。

知事／核燃サイクルは、国や事業者の責任で進めるべき。北海道の件は、私からコメントするこ
とはない。国でしっかりやると期待している。

県内から手を挙げる声はない。私の考えは、新たな負担を受け入れることはない。

毎日新聞／オスプレイ配備計画で、漁協は地権者への説明を優先すると決めた。県の受け止めと期待することは？

26日に防衛省が4支所と話し合うが、漁期が始まっている。防衛省へ求めることは？

知事／覚書の相手方である漁協の思いと、地権者の動向がポイントだと思う。防衛省が地権者と向き合う大事な局面を迎えた。

防衛省の防衛政策上、どうしても使いたいという思いが地権者に伝わるのかどうか。県の考えは説明済みだから見守りたい。

26日の方法を聞いてから、県の対応を決める。漁期の問題も同じ。県としてできる協力をしていく。

朝日新聞／民間の都道府県の魅力度調査で、45位になった。受け止めと今後の方針を。

知事／あまり意識していない。45位という結果に判然としない思いはある。

イクメンカでは全国1位。若い世代の支持が強かった。移住先ランキングでは、20代が3位、30代では5位。アニメやゲームの聖地として、SNS系では違ったイメージがあるのだろう。これからの調査は、若い層の意見が反映されてくると期待する。

西日本新聞／オスプレイの話。漁業者に寄り添い丁寧に進めていく方針に変わりはないか。

知事／全く変わらない。いつも漁業者の思いを考えている。自分たちの関係ないところで、有明海での漁ができなくなってきている。諫早の件で、国に対して不信感を持っている。防衛への思いや協力すべきとの思いはあるものの、信じられるのかと葛藤している。

彼らは、有明海で漁をしたいだけ。それがよくわかるので、県は漁協と寄り添って行動していく。